

新燃岳 2025 年 7 月 5～9 日噴火の火山灰構成粒子の特徴

2025 年 7 月 5 日～9 日の火山灰粒子の構成物は、それ以前(7 月 4 日～6 日)と比較して大きな変化はない。但し 7 月 8 日の噴出物中には白色の発泡粒子が極少量(0.1 パーセント以下)含まれていた。

2025 年 6 月 22 日の噴火再開以後、霧島山新燃岳は断続的な噴火と大量の二酸化硫黄ガス放出を継続している。産総研は 6 月 26 日から降灰調査と火山灰の採取を実施しており、7 月 5 日、7 日、8 日、8～9 日に噴出した降下火山灰の顕微鏡観察の結果を報告する。試料 1 は高千穂峰登山口付近、試料 2 はえびの高原南、試料 3 および試料 4 は新湯三叉路で採取した。

試料 1: 250708B : 7 月 5 日早朝の噴火

試料 2: 250708GPS280 : 7 月 7 日夜の噴火(それ以前も少し混じる)

試料 3: 250708H : 7 月 8 日 5:50, 6:05 の 2 回の噴火

試料 4: 250709H : 7 月 8 日～9 日 11:05 の火山灰

4 つの試料は、いずれも礫(>2 mm)を含まず、多く(57–73 パーセント)がシルト以下(<0.063 mm)の粒径を持つ。火山灰を蒸留水で超音波洗浄後、125–250 μm および 250–500 μm の粒子をキーエンス社のデジタルマイクロスコープ(VHX-8000)で観察した。

7 月 5 日～9 日の火山灰の構成物は、6 月 22 日以降の火山灰と同様に、斜長石や輝石などの遊離結晶片(C)、黒色や灰色を呈する不透明な岩片(DL)、しばしば黄鉄鉱を伴う白色不透明岩片(WL)、赤色～橙色を呈する酸化岩片(RL)、緻密でやや透明感のある淡色粒子(LP)、光沢を有し発泡痕をもつ黒色～暗褐色ガラス片(DG)、ガラス光沢を有する緻密な黒色～暗褐色岩片(GL)から構成される。観察した 125–250 μm 粒子のうち DG は数パーセント程度であり、7 月 4 日から 6 日の火山灰と同様の割合を示す。その他の構成粒子の割合も、7 月 4 日から 6 日の噴出物と比較して、顕著な違いは見られない(図 1, 2, 3, 4)。

一方、観察した 250–500 μm 粒子の中には、これまでの噴出物中には見られなかった、白色で発泡した粒子(WG)が 0.1 パーセント未満の割合で含まれていた(図 5)。これらは、東京大学地震研究所により 7 月 11 日に報告された白色の発泡粒子と同様の特徴を持つ。これらの粒子が新たなマグマとして噴火へ関与したかは、今後検討が必要である。

参考：

- ・ [新燃岳 2025 年 6 月 22 日噴火の火山灰構成粒子の特徴：2025 年 6 月 27 日](#)，産総研地質調査総合センター
- ・ [新燃岳 2025 年 6 月 26 日噴火の火山灰構成粒子の特徴：2025 年 7 月 1 日](#)，産総研地質調査総合センター
- ・ [新燃岳 2025 年 6 月 26～28 日噴火の火山灰構成粒子の特徴：2025 年 7 月 3 日](#)，産総研地質調査総合センター
- ・ [新燃岳 2025 年 7 月 2～4 日火山灰構成粒子の特徴：2025 年 7 月 7 日](#)，産総研地質調査総合センター
- ・ [新燃岳 2025 年 7 月 4～6 日噴火の火山灰構成粒子の特徴：2025 年 7 月 10 日](#)，産総研地質調査総合センター
- ・ [【研究速報】霧島新燃岳の最新噴火活動：2025 年 6/22・23 に噴出した火山灰【続報】7/8 降灰状況・火山灰構成物－東京大学地震研究所](#)，東京大学地震研究所，2025 年 7 月 11 日，2025 年 7 月 11 日閲覧

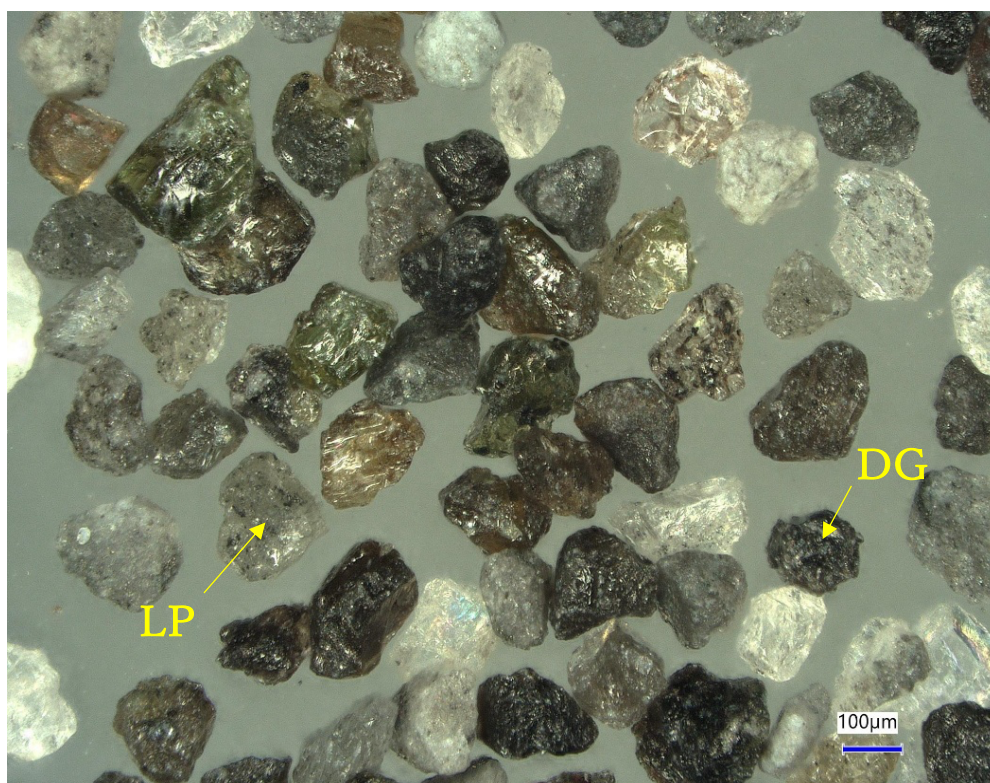


図 1. 2025 年 7 月 5 日噴火の火山灰（粒径 125–250 μm ）（試料 1）. 産総研採取（略号は本文を参照）.

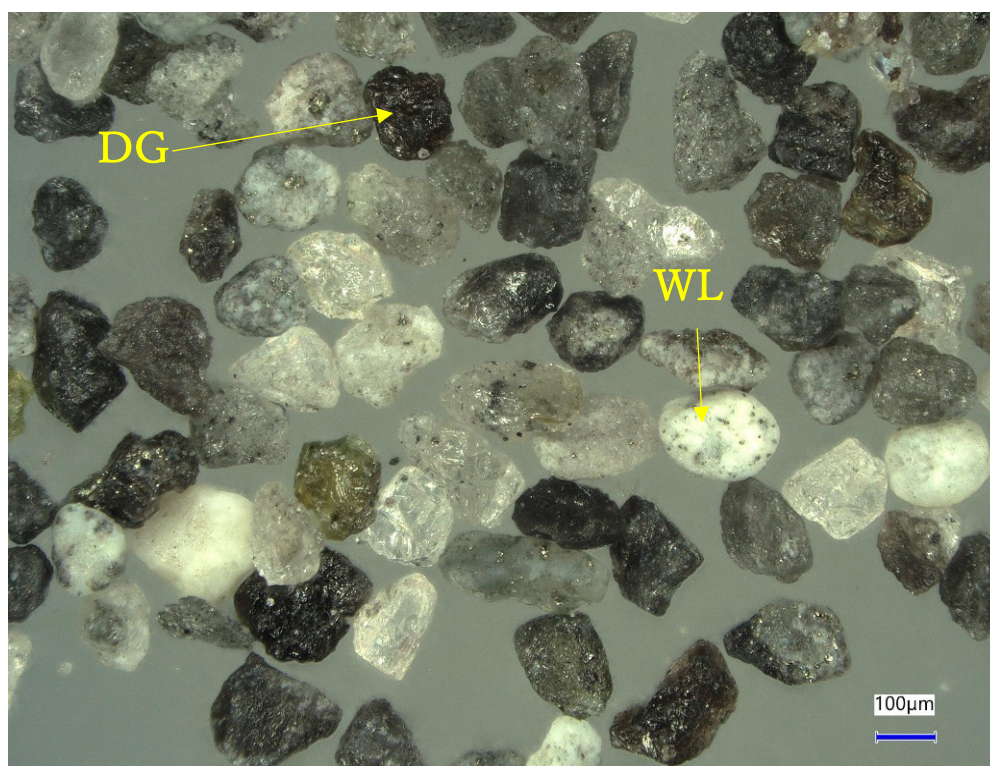


図 2. 2025 年 7 月 7 日夜の噴火（それ以前も少し混じる）による火山灰（粒径 125–250 μm ）（試料 2）. 産総研採取（略号は本文を参照）.



図 3. 2025 年 7 月 8 日 5:50, 6:05 の 2 回の噴火による火山灰（粒径 125-250 μm ）（試料 3）. 産総研採取（略号は本文を参照）.

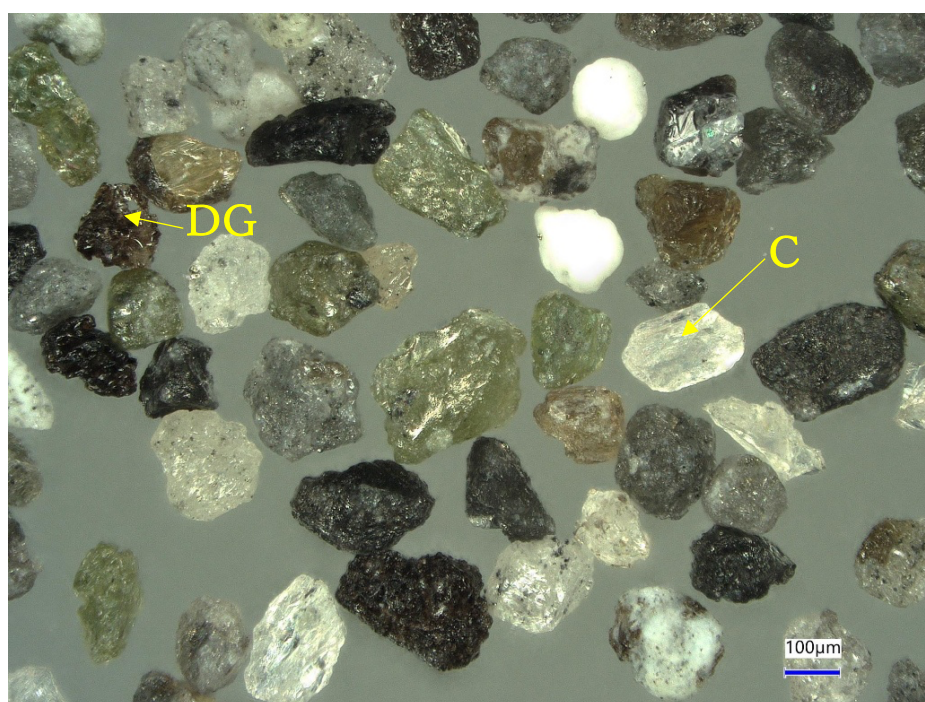


図 4. 7 月 8 日～9 日 11:05 の噴火による火山灰（粒径 125-250 μm ）（試料 4）. 産総研採取（略号は本文を参照）.

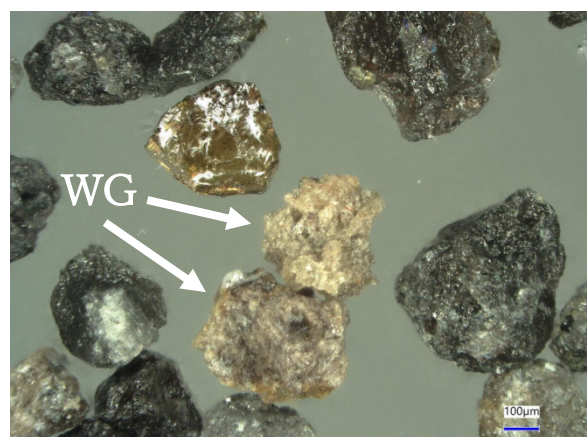
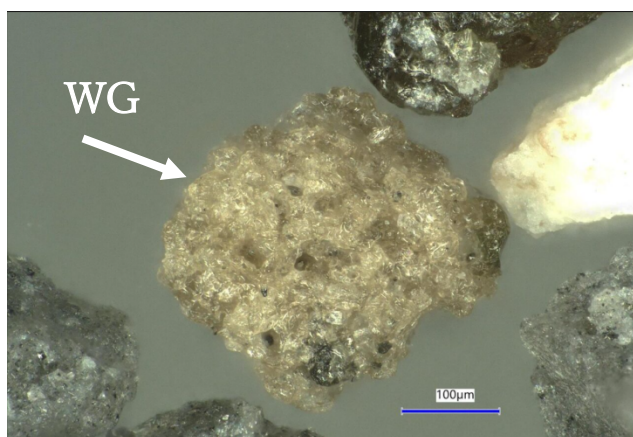


図 5. 7 月 8 日 5:50, 6:05 の 2 回の噴火による火山灰中の白色発泡粒子（WG；粒径 250-500 μm ）（試料 3）.
産総研採取.